

オンライン「超入門！学級経営セミナー」で出た好意見

第3回分

★セミナーの中で素晴らしいノウハウがたくさん集まりました！学生さんや若手の先生の助けになればと思い、シェアします！

「廊下を歩く」に関する指導

- ・6年生が「チーターも歩く」というポスターを掲示した。
- ・委員会のポスターを持って児童が角に立っている。「カメさんロード」を設定して歩くことにしている。歩いている人数をカウントして貼り出す。

★河村コメント：ポスター掲示など、行動の「前」の指導のみが多い中、人数のカウントという行動の「後」に関する意見が出ましたね。「ブランコが早い者勝ちにならないように交代のルールを作る」など、歩いても損をしない仕組みを作り、さらに教師や高学年の児童などをみんな巻き込んで歩いた方が得をする仕組みを考えられるといいですね。

- ・手を繋ぐ。一緒に外に出る。列を作る。

★河村コメント：安全な行動を形作ることができるように支援している例ですね。このように行うことで歩いたら褒められた、という経験を積ませることができそうですね。

- ・ハンカチを投げてしまう→誰かが拾うのを待つなどの行動が見られる。

★受講者コメント：楽しいと思わせないように時間を空けてからさっとポケットに入れる。大きいタオルを使い、ロッカーに戻す練習をし、称賛する。

★河村コメント：ハンカチを投げてしまう行動で、その子が何を求めているのか考えましょう。仮に習慣づいている場合、受講者コメントのように別の状況をつくるといいですね！

「あいさつ」に関する指導

- ・特別支援学校では、まずは模倣をさせて称賛を反復する。

- ・「お、お？」と問うて「おはよう」の合図にする。ハイタッチで代用する子もいる。

★河村コメント：模倣させて称賛→お手本を徐々に減らすというような方法です。必要最低限の補助で成功機会を稼いでいますね。さらに言語表出が困難であればハイタッチ、コミュニケーションは多様であって良いのです。コミュニケーションが好きになるように指導、というのが素晴らしいです。

・チャイム着席と挨拶ができたなら花丸というルールにしている。別の場所ではまだ挨拶ができないため、どうすれば？

★河村コメント：花丸の視覚的な評価が素晴らしいですね。まずは教室で、次は廊下であった先生に、次は校長室へ、というように、場面や相手の数を稼げると良いですね。

・好きなキャラクターのポスターを掲示する。全校で挑戦するものを決めて学年ごとに全校の前で発表する取り組みの中で、この学年は「挨拶を頑張る」ということになった。児童相互に評価してシールを渡しあう。日頃あいさつしない子も挨拶できていた！

★河村コメント：目標や方法の決定に子供たちを巻き込むことの重要性が近年指摘されています。相互称賛的な方法で普段挨拶をしない子までできるようになったという素晴らしい事例です！

「集合と整列」に関する指導

・自分の好むマーク（イラストなど）を立つ場所に貼ることで、整列を促した。

★河村コメント：並ぶ位置に印をつける指導を目にすることは多いですが、個々の好みに応じて印をつけ、場所が分かるようにした事例です。

・電車が好きな子→教師のカバンにつり革を付けてついてくるようにした。上手に並べている子を褒めた。

★河村コメント：つり革は行動のきっかけにもなり、さらに電車が好きな子なので満足のタネにもなりますね！